



私の好きな下田の風景

— 絵画・写真コンテスト入賞作品紹介 —

絵画部門に92点、写真部門に77点の応募をいただきました。どの作品も下田への思いを感じさせる秀作でした。審査の結果、優秀賞に輝いたのは次の6作品です。
問合せ先 建設課都市住宅係 ☎22219

写真部門

優秀賞(小学生以下の部)

港橋から見た船着場

佐藤朱莉さん(下田小5年)



優秀賞(中学生の部)

なまこ壁のある町

鈴木菜実香さん(下田中3年)



優秀賞(一般の部)

ペリーロード

神山恵雄さん(三千百)



絵画部門

優秀賞(小学生以下の部)

下田太鼓祭り宮入前の太鼓橋

古川史哉さん(下田小6年)



優秀賞(中学生の部)

白濱神社

藤井康生さん(下田東中2年)



優秀賞(一般の部)

爪木崎

村山忠一郎さん(蓮台寺)



下田市内の指定文化財

その30

下田市指定史跡

三穂ヶ崎遺跡

所在地 下田市白浜

指定日 昭和49年3月20日

白浜海岸と外浦海岸の間にある三穂ヶ崎には、古代の人々が神を祀ったと考えられる祭祀遺跡があります。



三穂ヶ崎遺跡から見た景色

三穂ヶ崎遺跡は、地元の人が岬の先端で石製の小さな玉を拾ったことにより発見された遺跡です。現在までに20個以上の勾玉や丸玉が採集されており、考古学の研究から、玉類は神まつりに使われた祭祀用具で、古墳時代のものであることがわかっています。

古代の人々はどんな神を祀り、何を祈ったのでしょうか。正確なことは

はわかりませんが、三穂ヶ崎の先端に立つと、青い海が水平線の彼方まで広がり、伊豆大島や利島・新島などの島影を望むことができます。このことから遺跡では海の安全祈願や、豊漁、伊豆七島の島神など海に関わる神々を祀っていたと考えられています。市内には須崎の夷子島や田牛の遠国島などに同様の遺跡があり、遙か古代から私たちの祖先が海と密接に関わり合いながら暮らしてきた証となっています。



三穂ヶ崎遺跡出土の玉類(複製)

三穂ヶ崎遺跡へは国道から小道に沿って5分ほどで行くことができます。途中に見える石堀のようなものは、江戸時代にこの地を治めていた沼津水野藩が幕末に構築したお台場(外国船を打ち払うために大砲を据えた場所)跡で、祠のある大きな岩を右手に見ながらしばらく歩くと遺跡のある見晴らしの良い場所に着きます。皆さんも古代人が祈りを捧げた三穂ヶ崎を歩いてみてはいかがですか。

アクセス
下田駅より白浜方面バス小撫又は板見バス停下車徒歩10分

問合せ先 教育委員会生涯学習課

☎5055

